



未来につづく  
安全・安心を

建設技術研究所  
会社案内



# 安全・安心への、たゆまぬ挑戦

人々の暮らしに想いを馳せ、技術の力を発揮することが私たちの使命です。

安全なインフラ整備で社会を支え、安心して暮らせるように。

道路や橋を人々が行き交い、豊かに発展できるように。

自然環境とも調和し、潤いのある生活が広がるように。

私たちは日本で最初の建設コンサルタントとして、

80年にわたってこの想いのもと、歩んできました。

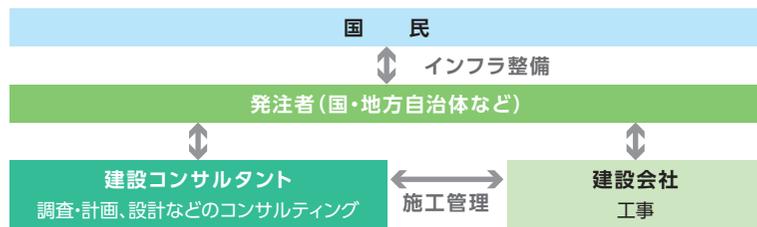
そしてこれからも、グローバルインフラソリューショングループとして飛躍することを目指し、

高い技術とあふれる英知で、安心して暮らせる明るい社会を創り続けます。

## 建設コンサルタントのビジネスと役割

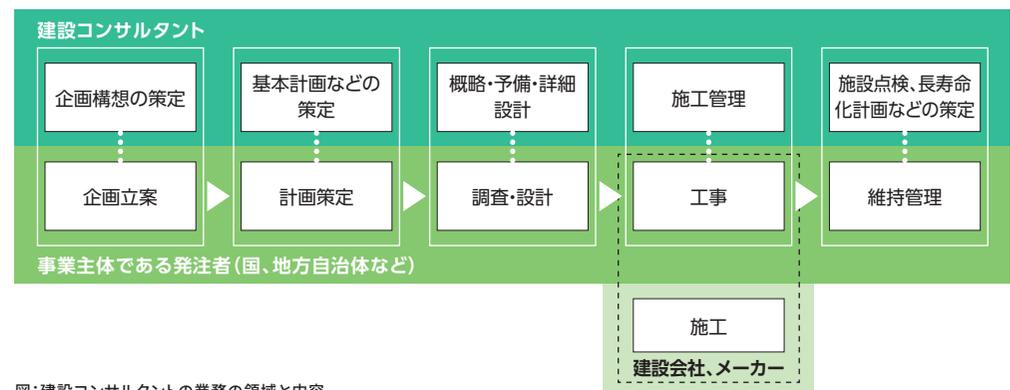
建設コンサルタントは、インフラ全般に関して総合的にプロデュースやアドバイスをし、発注者をサポートする役割を担っています。

私たちは、国民が必要とする良質で安全なインフラを提供するために、発注者の技術パートナーとして、企画・計画・調査・設計・施工管理・維持管理など、建設事業の全般にわたって幅広い業務を行っています。



図：建設コンサルタントの立ち位置

建設コンサルタントの仕事は、その成果の良し悪しが、建設される施設の品質とコストに大きな影響を与えるため、高度な技術力が求められています。頻発する自然災害、深刻化する地球環境問題、インフラの老朽化など山積する社会的課題の解決に向けて、建設コンサルタントは重要な役割を担っています。



図：建設コンサルタントの業務の領域と内容

# プロフェッショナル集団として、 サステナブルな社会づくりに貢献します



株式会社建設技術研究所は、1945年に財団法人建設技術研究所として創立され、日本初の建設コンサルタント会社として発展してきました。創立以来、「人」と「技術」を大切に、高い技術力を基盤に成長を遂げてきた当社は、CTIグループとして「世界に誇れる技術と英知で、安全で潤いのある豊かな社会づくりに挑戦する」という経営理念を掲げています。また、企業ブランド「未来につづく安全・安心を」のもと、持続可能な社会の実現を目指しています。

現在、社会は気候変動による洪水や渇水、大規模地震の被害、生態系変化、資源の持続可能な活用、老朽化するインフラ、さらにはDX推進や生成AIなど技術革新に伴う多様な課題に直面しています。CTIグループはこれらに対応すべく、2021年に中長期ビジョン「SPRONG 2030」を策定し、「グローバルインフラソリューショングループ」としての飛躍を目指しています。これに加えて、「CTIグループ・サステナブルチャレンジ推進計画」や「CTIG-HRM基本方針」を策定し、各種課題の解決や人材マネジメントの強化に取り組んでいます。2025年には「中期経営計画2027」「DE&I推進計画2030」を策定し、多様性を活かし公平で包摂的な環境をつくり、ビジョンの目標達成に向け推進しています。

CTIグループは研究開発や生産システム改革をグループ全体で進めるとともに、社会課題の解決に向けた具体的な提案を積極的に実施しています。社員一人ひとりが挑戦を続ける中、リスク管理やガバナンスの強化を図り、企業価値の向上と持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

代表取締役社長 西村達也

## 沿革

- 1945年8月 ● 日本で最初の建設コンサルタントとして、財団法人建設技術研究所創立
- 1963年4月 ● 東京都中央区銀座西(現銀座三丁目)に建設技研株式会社を設立
- 1964年2月 ● 商号を株式会社建設技術研究所に変更(英文社名:CTI Engineering Co., Ltd.)
- 1964年12月 ● 建設省(現国土交通省)に建設コンサルタント登録
- 1999年3月 ● 株式会社建設技研インターナショナル設立
- 1999年6月 ● 当社株式が東京証券取引所市場第一部に指定
- 2006年6月 ● 日本都市技術株式会社がグループに加入
- 2010年10月 ● 株式会社地圏総合コンサルタントがグループに加入
- 2015年5月 ● CTIグループ中長期ビジョン「CLAVIS 2025」を策定
- 2015年7月 ● 株式会社環境総合リサーチがグループに加入
- 2015年11月 ● 株式会社日総建がグループに加入
- 2017年6月 ● Waterman Group Plcがグループに加入
- 2021年6月 ● CTIグループ中長期ビジョン「SPRONG 2030」を策定
- 2022年4月 ● 東京証券取引所プライム市場へ移行
- 2023年4月 ● 株式会社設立60周年(創業78年)
- 2024年11月 ● 広建コンサルタンツ株式会社がグループに加入

# 高い志とたゆまぬチャレンジで

## CTIグループ中長期ビジョン SPRONG 2030 (2025年2月改定)

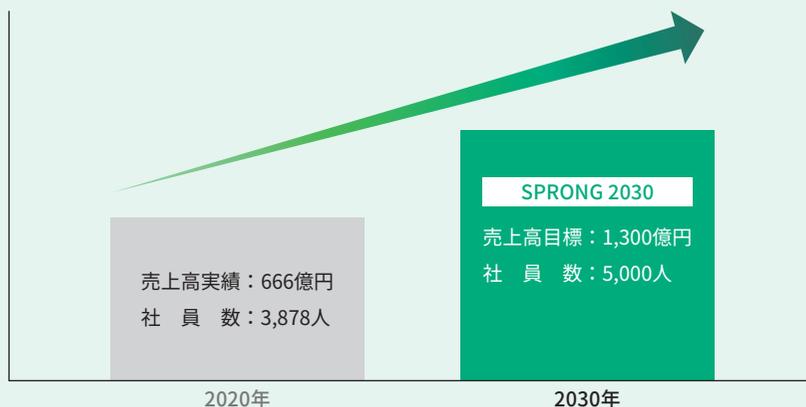
### 目指す姿

#### グローバル インフラソリューション グループ

国内外のインフラに関わるあらゆる課題を解決に導き、社会の持続的発展に貢献する「グローバルインフラソリューショングループ」として飛躍していくことをめざす。

### 経営数値目標

目標年次	2030年
売上高	1,300億円 国内コンサルティング事業 国内売上高 第1位 (940億円) 海外コンサルティング事業 売上高割合30%程度 (360億円)
営業利益	150億円 (営業利益率11%以上)
社員数	5,000人



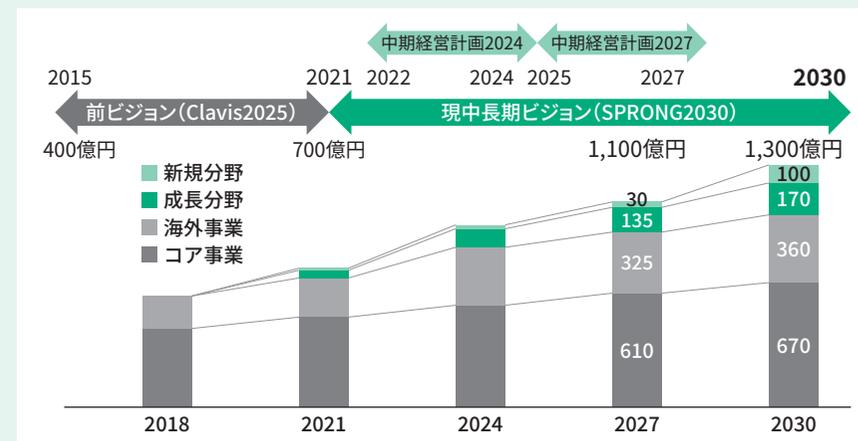
### 国内事業拡大

サービス・分野	内容
コア事業領域	防災・減災、既存ストックの運用、維持管理・更新、都市・建築、環境リスク、その他社会基盤整備での企画・調査・計画・設計等
成長分野	エネルギー
	情報提供サービス
	CM/PM
新規分野	現時点では収益化できていないものの将来性のある技術分野

### 海外事業拡大

方針	主な拡大地域
①中進国・発展途上国での展開	アジア (脱ODA展開)
	アジア、アフリカ、中東、南米など (ODA展開)
②先進国での展開	英国、アイルランド、オーストラリア
③連携・新分野展開	①、②およびその他先進国

### 2030年に向けた事業分野拡大



# 日本全国さまざまな分野で

## 国内ネットワーク

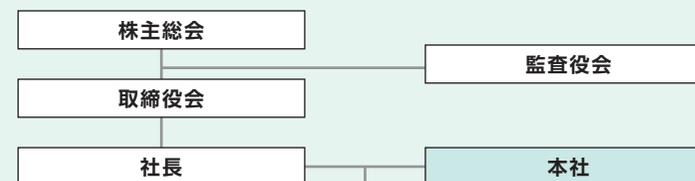
当社は47都道府県に営業拠点を配置し、豊富な技術者とともに、地域の顧客にきめ細やかなサービスを提供しています。



## 事務所

青森、盛岡、秋田、山形、福島、釜石、東京、茨城、横浜、千葉、山梨、関東、さいたま、群馬、栃木、長野、富山、金沢、静岡、岐阜、三重、南信、大阪、福井、滋賀、京都、奈良、神戸、和歌山、岡山、山口、鳥取、島根、松山、徳島、高知、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島

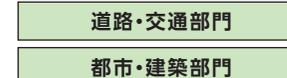
## 組織体系



### 流域・国土事業部門



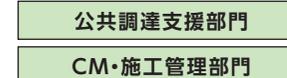
### 交通・都市事業部門



### 環境・社会事業部門



### 建設マネジメント事業部門



# 流域・国土事業部門

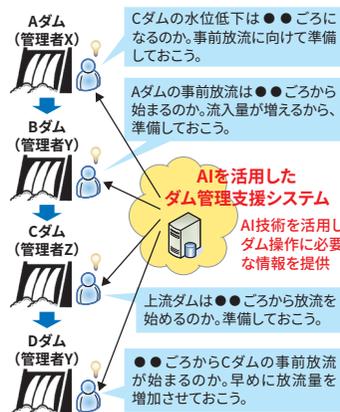
## 河川・海岸部門

■ 河川・海岸に強い総合建設コンサルタントとして、洪水・津波・高潮に対する防災対策や、流域水循環に関する対策を提案します。河川・海岸の調査や解析・実験から、計画・設計・維持管理まで広範囲に行います。

- 河川や海岸における総合的な防災・減災対策の提案
- 河川・海岸における計画・実験・設計・維持管理計画
- 水環境・水循環の保全・改善の提案
- 河川環境の保全と整備による水辺空間の復元・創出
- 既存施設の健全度評価・老朽化診断、長寿命化計画



▲粘り強い堤防



▲AIを活用したダム管理支援システム

## ダム部門

■ 新設ダムの計画・設計はもとより、ダム再生に関する計画・設計、堆砂対策やダム施設アセットマネジメントによる長寿命化対策など、時代の変化にも柔軟に対応しながら、ダムの計画、設計、操作、管理に関する幅広い分野の業務を行います。

- 新設ダムの計画と設計、水力発電施設の計画と設計
- 既存ダムの施設改造(再開発)の計画と設計
- ダムの機能向上を図るダム再生、水力発電所のリニューアルの提案
- ダム設計などのDX化、AIを活用したダム管理高度化、ダムのアセットマネジメント



▲ダムの計画・設計



▲ダム再開発(放流設備の増設)

## 砂防部門

■ 土砂災害を防止・軽減するため、災害調査・予測、砂防施設・地すべり対策施設の計画・設計・維持管理、ソフト対策までの総合的な砂防・地すべり対策の提案を行います。

- 砂防基本計画・施設配置計画、砂防施設、地すべり対策施設の設計
- 火山噴火に伴う土砂災害の総合的な対策の提案
- 砂防施設、地すべり対策施設の長寿命化計画・老朽化対策設計
- 砂防水理実験による砂防施設の配置・形状検討



▲砂防施設の計画・設計

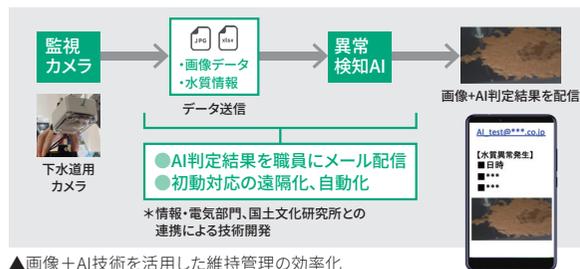


▲地すべり対策施設の計画・設計(法枠・杭工)

## 上下水道部門

■ 上下水道に関する調査・計画・設計から維持管理・発注者支援まで、幅広い事業プロセスでの課題を解決し、持続可能な上下水道サービスを支援します。

- 上下水道事業の広域化など、施設の最適化、更新計画・設計、コスト削減方策の提案
- 下水道施設におけるストックマネジメント計画の策定
- 気候変動を見据えた、下水道による総合的な都市浸水対策、雨水管理総合計画策定
- 下水道施設の資源・エネルギー活用の提案

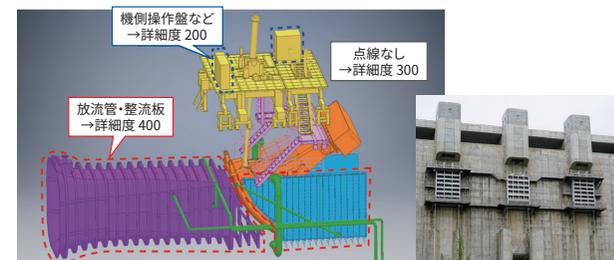


▲画像+AI技術を活用した維持管理の効率化

## 機電設備部門

■ ダム、河川、上下水道を中心とした機械・電気設備について、社会ニーズの変化に対応した最適な設備計画や維持管理計画などの立案を行います。

- インフラの機能を最大限発揮させる設備計画・設計の提案
- 既存施設の機能維持・性能向上計画の策定



▲既存施設の改良設計

▲ダム修理用ゲート施工事例

流域・国土事業部門の  
詳細はこちらです→



# 交通・都市事業部門

## 道路・交通部門

- 社会ニーズや道路交通の実態を踏まえた道路事業の評価・計画・設計により、長く使われる安全で信頼性の高い道路づくり・維持管理に貢献します。
- 多様な道路利用者やモノの流れに着目した、地域活性化や生産性向上に資する利便性の高い交通計画・交通運用を提案します。
- 利用者の利便性、地震や台風に対する安全性、環境との調和や景観、コスト縮減に配慮した最適な構造形式を提案するとともに、橋の長寿命化や維持管理の計画を提案します。
- 合理的な道路計画を立案するための交通分析、将来交通量推計、整備効果の実施
- 安全で快適な走行環境を実現するための道路構造物の計画・設計・施工計画の提案
- 人、モノの円滑な移動やインパクトを勘案した施設計画や交通運用計画の立案
- 次世代モビリティ(AIオンデマンド、自動運転、空飛ぶクルマ)を含めた地域交通計画の立案や運行サービス支援
- 最新の技術を駆使した合理的な橋梁計画・設計の提案
- 橋梁の長寿命化を実現するための点検・調査・補修・補強設計、維持管理計画の提案



▲施工中の新名神高速道路  
(新四日市JCT~菟野) <2019年3月開通>



▲オンデマンドモビリティサービス



▲銚子大橋



▲UAVを用いた橋梁点検



▲3次元橋梁設計ツール

## 都市・建築部門

- 少子高齢化、地方創生、地域振興、安全・安心、都市景観など、都市が抱える諸問題に多様な都市技術を駆使して対応し、活力と潤いあるまちづくりをサポートします。
- PFI・PPP\*事業における豊富な実績を活かし、官民連携に関するより高いサービスや経済性を実現する公共施設・複合施設などの整備を支援します。
- まちづくり・都市計画、都市施設設計、交通計画、PFI・PPPなど総合的なノウハウを活かしたワンストップサービスにより、市街地整備の事業化、付加価値向上を提案します。
- 地域戦略立案、都市再生事業、駅周辺整備、公園や都市拠点整備など幅広いまちづくり提案
- 庁舎や教育・文化施設、公園などの公共施設や低未利用地・遊休地の土地活用事業
- 交通拠点整備と一体となった市街地整備・開発事業支援・エネルギー事業支援
- 都市OSやスマートシティなどの都市DX展開支援



▲都市公園の計画・設計(深谷テラスパーク)



▲市役所庁舎設計(たつの市庁舎)



▲公園・広場の計画・設計(ながの表参道セントラルスクエア)



▲PFI事業による学校校舎整備(大分市立金池小学校)



▲大規模工場跡地の開発事業支援(川崎市扇島)  
出典:国土地理院ウェブサイト

交通・都市事業部門の  
詳細はこちらです→



# 環境・社会事業部門

## 情報・電気部門

■ AI、BIM/CIM、GIS、情報システムなどの導入・活用検討や電気設備、通信設備の計画・設計を通して、防災・社会インフラの高度利用を実現します。

- AI・画像解析、BIM/CIM、オープンデータ・ビッグデータ活用による災害監視・異常監視、施設管理の効率化検討、IoT、GIS、オンライン化などのDX施策の立案
- 災害発生前後の情報収集・提供を目的とした防災情報システムや点検・維持管理支援システムの計画・検討、設計およびシステム開発
- 受変電設備、発電機設備、太陽光・小水力・水素などの非化石エネルギー発電設備、道路・トンネル照明設備など、社会インフラを支える電気設備の計画・検討および設計
- 無線設備、光ファイバ設備、通信ネットワークおよび情報セキュリティ対策など、社会インフラを支える通信設備の計画・検討および設計



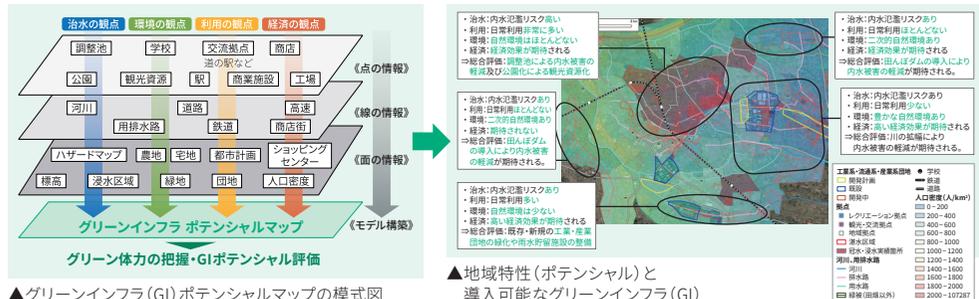
▲AI・画像解析による災害監視、施設管理の例

## 環境部門

■ インフラ整備と環境保全のバランスを確保するとともに、インフラ整備において環境を有効に活用するための技術や方策を提供します。

■ 廃棄物処理施設の新設、基幹改良について、計画、設計から施工監理までのトータルコンサルティングを行います。また、カーボンニュートラル社会の実現に向け、脱炭素化推進のための計画や再生可能エネルギー設備導入計画を提案します。

- 自然環境や生活環境に関する調査・解析から環境アセスメントまで環境面の広範な課題の解決
- エネルギー回収型廃棄物処理施設、最終処分場の整備事業支援
- 脱炭素まちづくり、再生可能エネルギー利活用・導入・事業支援



▲グリーンインフラ(GI)ポテンシャルマップの模式図

▲地域特性(ポテンシャル)と導入可能なグリーンインフラ(GI)

## 防災部門

■ 大規模災害・多災害・複合災害を想定した広域防災、都市防災、施設防災に関わる計画策定、各機関のBCP・受援計画策定を含む各種強靱化施策・手法の立案、さらには、各種インフラの計画・設計を通じ、国土・地域社会の安全確保を実現します。

- 国、自治体・関係機関、民間事業者による広域防災計画(受援・応援計画)、各種災害活動計画(啓開・排水・応急復旧計画など)の策定支援
- 国、自治体が進める都市計画(まちづくり)の防災機能強化、庁舎や事務所など各種施設の防災計画および設計
- 各種災害を想定した広域避難計画の策定、防災訓練の企画・実施、防災教育ツールの企画・作成、エリアマネジメント(地区防災)支援など



▲首都圏広域地方計画(2016年3月)における「四路啓開(総合啓開)」(道路、河川、空港・港湾施設など)の検討イメージ

## 地質部門

■ 土木構造物の建設に必要な地質条件の解析、防災・減災に向けた斜面の地質条件の解析、地下水利活用に関する解析の他、土木事業の計画・設計・施工・維持管理などの各ステージでの地質リスクを明らかにします。

- 地盤の特性を正しく把握することで、適切な斜面对策の立案や設計条件を提示
- 地盤や地下水水質などの環境変化リスクを考慮した地質リスクマネジメント、対応策の提案



▲災害時の現地調査状況



▲ダム事業のボーリングコア観察状況

環境・社会事業部門の詳細はこちらです→

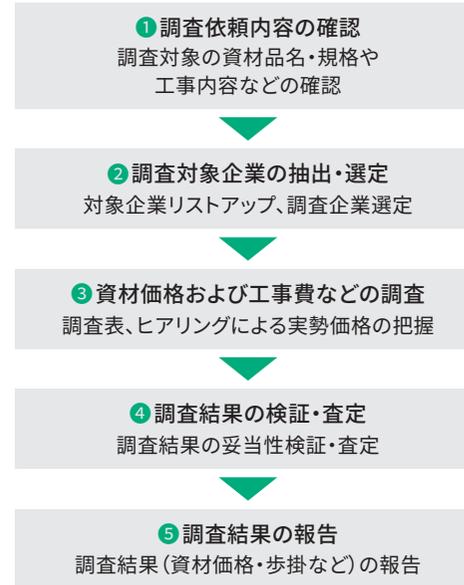


# 建設マネジメント事業部門

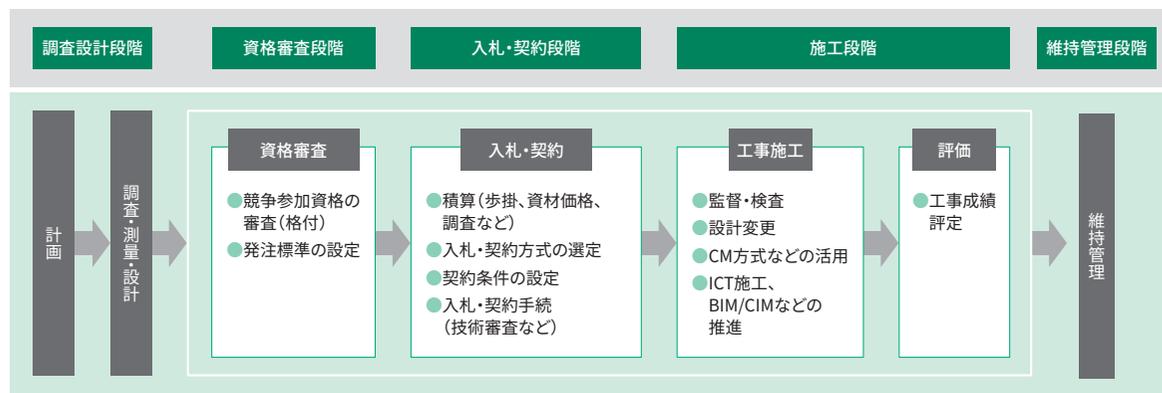
## 公共調達支援部門

- 公共事業の適正かつ円滑な実施に向けて、的確な技術と人材をタイムリーに提供し、入札契約や品質確保に関わる制度設計、さらに工事費算定に関わる基準作成や各種調査を実施します。
- 新たな制度などを導入する際の事業執行支援、さらに導入後のモニタリング評価や改善提案などの支援を行います。
- 公共事業の入札・契約制度（総合評価落札方式、デザイン・ビルド方式、ECI方式など）、監督・検査制度、発注者支援制度（CM（コンストラクション・マネジメント）方式など）などの導入に関わる制度設計支援
- 具体の個別事業を対象に、新たな入札・契約方法の適用検討や入札・契約手続の支援
- 公共土木工事の資材価格や工事費などの調査、積算歩掛や諸経費の分析など、予定価格の適切な設定に向けた支援
- 公共事業におけるi-Construction（アイ・コンストラクション）やDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進支援

### 資材価格や工事費などの調査の基本的な流れ



### 建設生産システムにおける公共調達の概要



## CM・施工管理部門

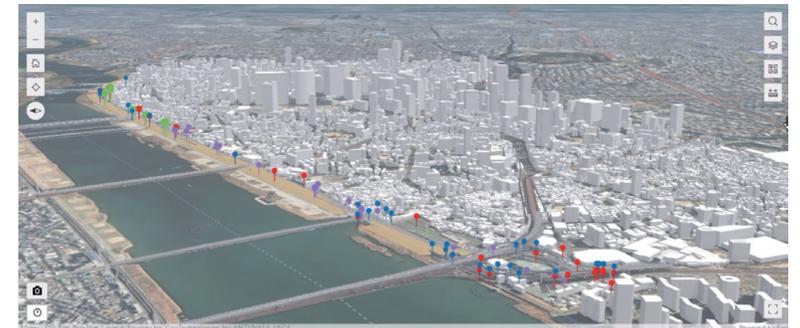
- 建設事業は計画～調査・設計～工事施工のプロセスを経ます。当部門は、発注者とパートナーシップを築き、CM（コンストラクション・マネジメント）や施工管理業務を通して事業を推進します。
- CMでは、事業の計画から工事施工までの各段階において工程・品質・コスト管理などのマネジメントを行います。施工管理では、工事の監督や検査に関わる発注者の支援を行います。
- 災害復旧事業や新設・維持事業などにおけるPM・CM
- 国土交通省の事業監理業務
- 国土交通省の工事監督や自治体の施工管理の支援
- ネクスコの高速道路建設事業などの調査・設計管理、施工管理



▲CMを活用した都市再生環状道路建設事業の建設状況



▲CM業務における工程会議



▲CMにおける情報共有プラットフォームの開発・活用（工事進捗、予算執行、現地の課題・リスクなどの情報を3D都市モデル上にタイムリーに集約）

建設マネジメント事業部門の  
詳細はこちらです⇒



# 国土文化研究所

心の豊かさを醸成できる空間の創出を目指して

CTIグループの知識と技術を結集する中央研究所機能を有する組織として、“国土文化”という視点から、豊かな社会を創造するためのさまざまな調査研究に取り組んでいます。

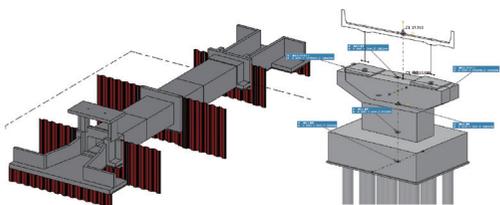
## 未来を創る

### ● インテリジェンスサービスプラットフォーム(ISP)



インフラに適用するAI・ICT研究開発

- 最先端のAI技術に関する研究開発・実装
- ICT技術(デジタルツイン・IoTなど)の開発・普及
- 研究成果の論文作成、学会などへの発表



3次元データを活用し、より効果的な設計手法の実現

- 構造物の3次元設計プロセスの開発
- 自動構造解析システムの開発
- シームレスなデータ連携方法の開発

### ● 国土文化研究



次世代インフラ政策や地域の歴史や文化に関する研究に加え、社会のサステナビリティ推進に寄与する研究テーマや研究センターつくばを活用した分野横断型研究

- 地方と都市の社会的課題を解決する
- 地域の文化・社会形成とインフラの関わりを解く
- 建築物の水防災対策を社会実装する
- インクルーシブデザインに配慮した設計手法を確立する

## 共に生きる



### ● 江戸東京・川のなぜなぜ舟めぐり

当社の土木技術者が案内役を務めるクルーズ「江戸東京・川のなぜなぜ舟めぐり」を行っています。案内役は幅広い知識とコミュニケーションスキルが必要であり、技術者の人材育成にも役立っています。

## プロを育てる



### ● 初期専門能力開発(IPD)

～未来を担うエンジニアを育てる～

幅広い視野を持つ技術者を育成するため、若手技術者全員を対象とした社内の人材育成プログラム「初期専門能力開発(IPD)」に取り組んでいます。

## 広く伝える



### ● オープンセミナーの開催

「自分らしく生きるための眼力を養う」ために、地域の皆さんとさまざまな問題を考えるオープンセミナーを開催しています。

### ● 出版

研究開発や地域・社会貢献活動の成果、研究顧問の著作などをとりまとめ、これまでに8冊の書籍を出版しています。



国土文化研究所の  
詳細はこちらです⇒



# 会社概要

## 概況

商号 株式会社建設技術研究所  
(英文名:CTI Engineering Co., Ltd.)

設立 1963年4月

代表者 西村 達也

本社所在地 東京都中央区日本橋浜町3-21-1  
(日本橋浜町Fタワー)

資本金 3,025,875,010円

上場取引所 東京証券取引所プライム市場

事業内容 土木建設事業に関する企画、調査、計画、設計  
及び事業監理他

主要加入団体 一般社団法人建設コンサルタンツ協会  
公益社団法人土木学会  
公益社団法人日本技術士会  
一般社団法人持続可能社会推進コンサルタント協会  
一般社団法人日本環境アセスメント協会  
一般社団法人海外コンサルタンツ協会  
一般社団法人国際建設技術協会 他

主な取引先 国土交通省、都道府県、指定都市など

## グループ会社

**株式会社建設技術インターナショナル**  
海外のインフラ整備、社会環境整備に関わる調査・  
計画・設計・施工監理・プロジェクトマネジメント業務

**Waterman Group Plc**  
英国、アイルランド、オーストラリアを拠点とした、  
建築、インフラ整備、環境、エネルギー分野における  
企画提案、計画、設計

**日本都市技術株式会社**  
都市開発・都市計画・まちづくり、土地区画整理事業・  
市街地再開発事業、土木設計・開発許可、補償調査、  
測量、災害復興、不動産コンサルティングなど

**株式会社地圏総合コンサルタント**  
地質調査・解析および地下水・土壌汚染調査、道路・  
河川・地下利用施設の計画・設計、砂防防災の計画・  
設計、斜面防災・地すべり対策の調査・設計など

**株式会社日総建**  
建築・建築設備に関する設計・監理・調査・計画、建  
築事業全般に関するPM・CM業務、建築物の調査鑑  
定解析、長寿命化・修繕計画作成など

**株式会社環境総合リサーチ**  
環境コンサルティング(土壌汚染対策、水処理、環境  
アセス)、環境調査分析(水質、廃棄物、排ガス、ダイ  
オキシン類、PCB、アスベスト、PFAS)、作業環境測  
定、飲料水検査、遺伝子解析(環境DNA)など

**広建コンサルタンツ株式会社**  
インフラ整備事業(土木設計、開発設計、農業土木、  
建設環境、各種点検、測量、補償調査、地質調査など)  
および廃棄物関連事業、店舗・造成事業、土壌調査、  
ICT事業(3D測量・3D設計など)

**株式会社CTIフロンティア**  
営農事業、農業コンサルタント事業など農業に関連  
する事業

**株式会社CTIアセンド**  
未利用地や未利用資源を活用した農業生産(トモ  
ロコシ)および酒類(ウイスキー)製造販売

**株式会社CTIリード**  
河川構造物設計、砂防設計、道路設計、BIM/CIM、ビッ  
グデータ解析、交通需要予測、自然環境調査、影響・  
保全調査、水理模型実験・解析、河川・ダム・海岸・砂  
防の現地調査・解析、河床材料調査・分析

**株式会社CTIウイング**  
河川構造物・ダム・砂防・電気通信施設計画・設計、  
道路構造物計画・設計、橋梁点検・設計、河川計画、  
生活環境・交通量調査、DX関連(UAV調査、XR、  
BIM/CIM)、建設マネジメントなど

**株式会社CTIグランドプランニング**  
水理解析、耐震解析、施設計画・設計・維持管理点検、  
防災・減災計画、ビッグデータ解析、BIM/CIM、XRなど  
情報活用、管理システム・アプリ開発、UAVなどセン  
シング、地質調査・解析、発注者支援など

**湯浅コンサルタント株式会社**  
上水道の設計、道路、河川、砂防の構造物設計、電線  
共同溝の設計、測量、保安林解除申請、林地開発許可  
申請など

## ウェブサイト

会社概要

経営理念・行動憲章



サステナビリティ

プロジェクト紹介



研究開発

IR情報



事務所一覧

組織図



有資格者数

表彰・受賞



# CTI 株式会社 建設技術研究所

〒103-8430 東京都中央区日本橋浜町3-21-1 (日本橋浜町Fタワー) TEL.03-3668-0451  
<https://www.ctie.co.jp>

建設技術研究所 ブランドフレーズ「未来につづく安全・安心を」

—— ブランドストーリー ——

株式会社建設技術研究所は、建設コンサルタントのパイオニアとして、これまで社会の課題に真摯に向き合い、技術力を研鑽してインフラ整備に関するさまざまな課題解決に取り組んできました。

技術革新が急速に進む中、新たな技術に挑戦し、最高のインフラサービスを提供し続けるプロフェッショナル集団として、安全で安心して暮らすことができる社会を未来に向けて創造し続けます。

